

●円山動物園へのアジアゾウの導入について

円山動物園では、平成 19 年にゾウの花子が死亡して以降、ゾウはいませんが、先に「札幌市円山動物園ゾウ導入方針」(平成 26 年 11 月 18 日策定)をまとめ、種の保存や環境教育の推進を目的として、平成 30 年秋ごろにアジアゾウの導入を目指すこととしています。

これまで、新たな個体の導入についてミャンマー連邦共和国政府の関係機関との協議を行ってきたところですが、平成 26 年 12 月 26 日に、以下の内容について、基本合意しました。

(合意内容)

- ・円山動物園へのアジアゾウ導入は 4 頭とし、円山動物園とミャンマーの動物園(ヤンゴン動物園)との間での動物交換プログラムにより行う。
- ・2014 年はミャンマー・日本の外交樹立 60 周年の年であり、これを記念したものとして合意する。

なお、具体的なプログラム内容や交換動物種などについては、今後の調整となる予定です。

今後は、ゾウの生態に合った飼育環境を整え、国内外の動物園と協力し積極的に繁殖を進めることにより、飼育下のゾウの頭数を維持し次世代の命をつなげる動物園の役割を果たすとともに、多くの市民にゾウの生態や生息地のことを知ってもらいたいと考えています。

<参考：アジアゾウについて>

東南アジア、中国南部などに生息。雄の体長 5.5~6.4 メートル、体重最大 5~6 トン。推定個体数は 1990 年前後の約 10 万頭から 2008 年には 36,000~51,000 頭へ減少し、絶滅危惧種とされている。日本国内飼育数は 82 頭(平成 26 年 11 月時点)。

問い合わせ先

円山動物園 園長 田中 ・ 飼育展示課 柴田

電話：621-1426